

**放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)**

公表:令和 年 月 日

事業所名 放課後等デ  
イサービス/サンジニ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		障害特性に配慮した区割りを行うよう心掛けている	
	2	職員の配置数は適切である	6			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		スロープ・手すりなどを設置している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		社内プログラムとして半期ごとの目標設定と振り返りがある	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		アンケートを実施するほか、送迎時での保護者様とのコミュニケーションを重視している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		第三者評価の受け入れを検討する。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		社内研修のほか、外部セミナーなどにも参加している	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		アセスメントは契約時に丁寧に行っている他、計画も半年以内のペースで会議を行っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		6		標準化されたアセスメントツールを導入し、ご利用者様の適応行動の状況を把握していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		中心になる従業員を設定し、従業員全員で立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	曜日ごとに概要は設定しているが、毎回同じにならないよう、心掛けている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	5		状況に応じて支援を日々変化させているが、きめ細やかな設定をするため、ミーティングなどを丁寧に行っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		日々のご利用者様の組み合わせに応じて、適宜計画を調整するようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		朝礼時にご利用者の出席を確認し、その日の支援を再確認するように心がけている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	モニタリングシートの記入のほかに、終礼時にその日の支援について振り返るようにしている。	終礼時が人員配置上、手薄になりがちなので、送り書などの導入を検討する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		従業員の記入した記録物に関しては、その日のうちに所長が内容を確認している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		半年以内の個別支援計画の打ち合わせを、全従業員参加で実施している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	5		ガイドラインを具体的に支援計画の中に組み込んでいく	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			所長が主に参加しているが、児発菅や、そのご利用者様の主たる担当者の参画も検討していく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		学校とは、学校だよりなどを中心に行事予定の共有を図るとともに、教頭、担任の先生等と連絡を取り合いながら、情報の共有に努めている	学校によって、情報共有の密度にばらつきがあるので、共有度の低い学校に対しては連絡の緊密化に努める。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	契約時にアセスメントシートなどで通院先、主治医、連絡先を確認している他、保護者との情報共有も常に行っている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	支援事業所とは、ご利用前、ご利用中も報告書、面談等で、情報の共有を図っている。	就学前の保育所や幼稚園との情報共有も図っていききたい。また、所属長は共有した内容を他従業員にも周知を徹底したい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6			相談支援事業所との連絡で情報共有を図っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		所長を中心として、児童発達支援センター等と情報共有を図っているとともに、研修にも参加している	所長以外も児童発達支援センター等とのコミュニケーションを図れるよう配慮していくとともに、職員にも積極的に研修に参加できるようにしていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	健全者との交流を嫌う保護者もあり、配慮が必要と判断から利用は消極的。	児童館や子育て支援センター等地域の資源を積極的に利用していくよう検討したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6			所長を中心とした参加を行っていたが、所長以外の参加も促し、職員の能力向上に努めていきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時の保護者との会話やメール、電話、連絡帳でのやり取りなどで、共通理解を図っている	様々なツールでの連絡方法の検討や、送迎時での会話などのスキルの向上にも努めていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6		職員が年少であることから、ペアレント・トレーニングは出来なっていたが、職員の能力・経験の向上を図ることで、ペアレント・トレーニングなどの支援も行っていきたい。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		入所時の契約書等を交わす時点で、個々の内容を丁寧に説明するよう心がけている他、不明点は、連絡をいつでもいただける体制にしている	入所時は、保護者の方もわからないことだらけの可能性も高いので、時間をおいて、再度説明を行う機会を設けるなど、保護者の疑問を解決するよう努めていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	同じ子を持つ保護者の先輩としての観点や放課後等デイサービスの職員としての立場等様々な角度から助言をさせていただきようとしている	職員が独身、子育て未経験の者が多いため、高い立場にたつての助言は行えない部分もあるが、放課後等デイサービスの職員としての知識や経験をもとに助言できるように心がけていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5		保護者会等を望まない保護者もみえるので、開催には消極的だが、要望に応じて連携をとっていくことを検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		保護者の苦情、相談は、所長が窓口になり、迅速に対応するよう心がけている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		紙ベースの会報を発行していたが、ブログでの発信を開始し、いつでも情報が得られるよう、努めている	
	35	個人情報に十分注意している	6		個人情報には、事務所の鍵付きキャビネットで保管している他、不要な情報は、第三者には漏らさないよう心がけている	書類上の個人情報の漏洩に注意するとともに、会話などで、情報が漏洩しないように、従業員にも周知させる。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		保護者とは、メール、電話、連絡帳で子どもの疎通を図っている、子供たちとも会話を通じて意思の疎通を図っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		現状、特に測ってはいないが、保護者の理解、了解を得たうえで、交流を図っていききたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	4		緊急時対応マニュアル等は存在するが、保護者に周知されていないので、行事等も企画しながら、保護者にも周知していきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		毎年、避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		朝礼、終礼時に意識統一を図っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	3	現在、身体拘束を必要とする利用者がいない	身体拘束が必要な利用者が発生する可能性もあるので、職員間、保護者間との話し合いを行う体制を整備する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6		医師の指示書はないが、事前のアセスメントで、アレルギーの把握は出来ている。医師からも指示をいただけるように心がけていきたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	社内で事例を報告するフォーマットがあり、事例の共有は出来ている	朝礼時、終礼時にも事例を出して、情報共有を図りたい。